

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第69号

発行日 平成27年2月27日
 発行者 県立鹿屋高等学校PTA
 発行責任者 上谷田浩幸PTA会長
 編集責任者 黒松かおり広報部長
 題字 川路舞衣(2年)

- 1 面：卒業おめでとう
- 2 面：センター試験、激励メッセージ
- 3 面：卒業特集
- 4・5 面：担任からのメッセージ
- 6 面：保護者からのメッセージ
- 7 面：PTA活動報告
- 8 面：学校探検、編集後記



伝統ある鹿屋高校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

希望と不安の入り混じる中、本校の門をくぐってからの3年間の歳月は、瞬間に過ぎてしまったのではないのでしょうか。皆さんは入学してから校訓である「知・徳・体」の名のもとに、学業に精進し、部活動に汗を流し、体育祭や文化祭で泣いたり笑ったりし、人格の向上など自己鍛錬に努め、とても輝いた日々を多くの友と過ごしてきましたね。これら本校生徒の文武両道をかかなえるためには、



PTA会長
上谷田 浩幸

御卒業おめでとうございます

保護者の皆さんの多大なる支援協力があればこそ成り得た事です。皆さんは朝早くから夜遅くまで皆さんのお世話をして頂いた、保護者への感謝を生涯忘れないでください。

この春からほとんどの皆さんは、生まれ育ったこの大隅を離れ、進学にせよ就職にせよ、社会に巣立つていきます。今までの高校時代とは全く違う生活となり、何事においても自己判断により人生が左右されていきます。自分を甘やかせず、楽な方ばかり流されたい様にも、しっかりとした自己をもつて、随時正しい判断をしてください。

卒業は節目ではあるが決してゴールではありません。皆さんの前にはどこまでも続く道があります。それは決して平坦な道ではありません。激しい嵐にも遭うでしょう。凍てつく寒さも経験するかもしれませんが、しかし、辛苦を恐れずまっすぐ前を見つめ、鹿屋高校生活3年間の経験を活かして、遥か遠くにあるゴールを目指して歩いてください。私達PTAは、いつまでも彼方達の最大の理解者であり、最強の応援団であり続けます。

『キバレ三星健児!』



大学入試センター試験

1月17日(土)～18日(日)の両日、大学入試センター試験が鹿屋体育大学で行われました。67期の生徒たちは緊張した面持ちで、しかし「いつもの模試と同じだ。」という平常心で、真剣に取り組んでいたようです。輝け！三星健児!!



あせらず
あわてず
あきらめず

人事を尽くして
天命を待つ

今こそ
謙虚に愚直に



努力こそ結果である!!

奇跡は諦めない奴の
頭上にしか降りてこない!!
"奇跡"ナメんじゃないよ!!
エンポリオ イワンコフのこぼ

受験とは
今までの
君たちの
生き方が
問われる
試験である

為せば成る
為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり
上杉鷹山のこぼ

書道部 からの 激励メッセージ

書道部の生徒たちが、3年生を激励しようと今年も正門から3年生の昇降口へ向かう通学路に沿って、含蓄のある応援メッセージをたくさん書いてくれました。鹿屋高校の伝統行事になりつつあります。きっと受験生たちは元気づけられていることでしょう。

まもなく君達にとって
最も充実した日々が始まる
勇気をもって前に進もう

志有る者は
事竟に成る
後漢書 張翊のこぼ

「水五訓」

校長 今村 成 弘

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

『永遠の生命を三年にこめて』、仲間とともに過ごした三年間は、皆さんを大きく成長させてくれたことと思います。

皆さんは、鹿屋高校生、即ち、三星健児としての誇りを持ち、勉学や部活動、生徒会活動、学校行事等によく頑張ってきました。

昨年度、創立九十周年という節目の年を迎え、今年、創立百周年に向けた新しいスタートの年として、気持ちを新たに、新たな風を吹かせ、飛躍の年となるよう、『知・徳・体』の校訓のもと、文武両道をモットーによく努力してくれました。

ところで、生徒の皆さんの中に、下校の時に、正門のところ、校舎（学舎）に対して一礼をして帰る生徒が何人もいることを大変うれしく思っています。自分を成長させてくれる学舎に対する感謝などを行動で示してくれているのだと思います。行動には表してはいないが、心の中で、感謝しているという人も多いと思います。卒業しても、母校に対する愛情を持ち続け、三星魂を発揮して、飛び立つ社会で活躍してほしいと願います。ここで、卒業生の皆さんへ、餞（はなむけ）として次の「水

五訓」という言葉を贈りたいと思います。

一 自ら活動して他を動かしかるは水なり

二 常に己の進路を求めて止まざるは水なり

三 障害に遭い激しくその勢力を百倍し得るは水なり

四 自ら潔くして他の汚濁を洗い然も清濁併せ容るるは水なり

五 洋々として大洋を充たし発しては雲となり雨と変じ凍つては玲瓏たる氷雪と化するもその性を失わざるは水なり

これらは、水というものを通して、人としての生き方を教えてくれているものだと思います。

一は「率先垂範せよ」、二は「自ら考えて道を拓くことを心掛けよ」、三は「困難に遭つてもじつと耐えて努力し続けよ」、

四は「様々な価値観を受け入れ、大きな目的に向かつて進め」、

五は「本質を保ちつつ、変化に柔軟に対応せよ」というように解釈することができると思いますが、これらを心に刻み、自分の人生を豊かで充実したものにしてほしいと願っています。

最後に、皆さんのこれからの活躍を期待し、旅立つ皆さんの前途が幸多からんことを祈念いたします。

何事にもチャレンジ

3学年主任
大山 和 也

君たちと過ごした2年間はあっという間の2年間で、特に今年の1年間は早く感じました。時間が経つのが早く感じるというのは、それだけ毎日が充実していたからだと思います。皆さんは、この3年間をどのように感じていきますか。11月に面接練習をした際、次のような質問をするとほとんどの人が、高校生活で一番頑張ったことは「部活動」、高校生活で一番の思い出は「3年生最後の体育祭」、校歌のフレーズで一番好きな所は「永遠の命を三年にこめて」と答えていました。この3年間で充実したものと感じる場面でした。

私は、高校生活が新しく始まる入学式のホームルームでいつもこんな話をします。「今から新しい環境の下で、新しい生活がスタートします。自分を変えたいと思っている人は今がチャンスです。引っこ込み思案だった人は活発になる、欠席の多かった人は絶対休まないなど。」これは新生活が始まる時であればいつでも当てはまります。新生活のスタートは何かを変える絶好のチャンスです。君たちには多くの可能性があります。失敗を恐れていては何もできません。あの時こうしていればと後悔だけはして欲しくありません。「何事にもチャレンジ」する気持ちを忘れず、前向きにこれからの人生を歩んでください。未来はきつと明るいものとなるでしょう。皆さんの活躍を心から期待しています。



1組



次の良き思い出のために

「永遠の生命を三年に込めて」学校生活を過ごしてきたことと思う。鹿屋高校に入学したら、勉強で鍛えられると承知の上で、定員は割れたけれど落ちるかもしれないという不安に耐えながら、最後まで粘り強く受験勉強に取り組み、見事に合格してきた君たちは、この3年間で立派な三星健児に成長したと思う。殊に、1年次の努力は素晴らしかった。1年次には成績個票に、成績の他に進路目標や学習時間、更には各科目の提出状況までを毎回記載し、担任だけでなく部活動の顧問にも配付して、様々な角度から君たちの生活を三星健児として恥ずかしくないものにするために手間暇かけて指導したところ、「高校とはこんなものだ」と覚悟を決めてくれる生徒が多く、学年全体の雰囲気も日毎に良くなっていった。素直な生徒が多く、前を向いて話を聞く姿勢は特に素晴らしかった。3年間で立派に成長した高校時代が、これから君たちの人生をきっと支えてくれるに違いない。

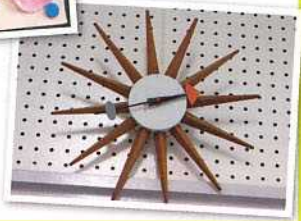
3年1組担任 安永 隆

卒業される3年生の皆さん、そして保護者の皆様、おめでとうございます。この3年間、決して楽ではなかったと思います。辛くて自分の選択した道に疑問を感じたこともあったかもしれませんが。毎日、授業や部活、人間関係にへとへとになりながら何とか1日を終え、帰路につく皆さんをみてきました。保護者の方々は毎日疲れ果てて帰ってくる生徒さんを心配されていたかもしれません。しかしそれと同時に、高校生活中に幾多の素晴らしい出会いがあり、熱中できる何かを見つけることもあったと思います。辛いことも含め、これらすべてが皆さんの成長の糧になったのだと思います。

もしこの間、じっと何もせずに動かずにいたら、これらの1つも感じることはなかったでしょう。これから先も、おそらく楽しいことばかりではありません。以前に語ったことですが、「楽しい」と「楽」はちがいます。幾多の困難を乗り越えて本校で成長してきた皆さんならば、きっと「楽しい」人生を歩む力が備わっています。これからの皆さんの人生に幸あれ。保護者の方々、今日までお疲れ様でした。



2組



3年2組担任 古川 一樹

3組

科目	担当	担当	担当	担当
英語I	英語II	数学I	数学II	物理
化学	生物	地歴I	地歴II	芸術
体育	保健	家庭	音楽	情報
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W
英語W	英語W	英語W	英語W	英語W



卒業おめでとう！個性豊かな皆さんでしたが、今後もさらにそれぞれ自分を磨き、社会という大きな舞台で活躍することを期待しています。

『得手に帆をあげて』。これは私が尊敬している本田宗一郎の言葉です。好きこそものの上手。好きだからこそ続けられる。続けるからこそ大成する。これから皆さんが旅立つ世界には、まだまだ多くのワクワクやドキドキが待っています。自分の殻に閉じこもらずに何事にもチャレンジして、楽しいことを見つけたら徹底してやり尽くしてください。何かにひたむきに取り組む人はとても魅力的ですし、そんな姿勢で世の中を生きることができれば、その人の人生はもっと楽しいものになると思います。

皆さんには無限の可能性ががあります。しばらく後に、さらにでっかくなった皆さんに会える日を期待して…。

3年3組担任 牧之瀬 義広

世界はことばで溢れている。
いや、実際は、ことばによって世界は編まれている。
ことばがあることによって、ものはものとして存在する。その世界の中で、日本に住む私たちは日本語によってものを考え、生活をしている。より良く生きるカギは日本語ということばにある。
日本語ということばは、音楽や絵画や演劇や花束と同じように、最終的に人間を勇気づけるものであってほしいと考えている。だから、大切に、丁寧に、遣い続けてほしい。これは自戒も込めて。
これからの人生、君たちがどんなことばで世界を捉え、どんなことばで夢を広げ、未来を語るのか。あるいはまた、真理や幸福や宇宙や美や実存といったことばに何を吹き込むのか。それこそが君たちの人生そのものであり、科学の、哲学の、文学の、すべての学問の出発点になるはずだ。
身近にあるけど奥が深い、日本語という母国語を大切に、日本で、世界で活躍してください。
卒業、おめでとう。



4組



3年4組担任 和田 倫周

5組



君たちが、星の数ほどある道の中からどの道を選ぶのか楽しみにしています。ぜひいつか、君たちが卒業後に経験する楽しい話を聞かせてください。

3年5組担任 千頭 一郎



67期のみなさん、卒業おめでとうございます。ただし、一抹の不安も感じているところです。それは、卒業が新しいスタートであり、これからが本当に厳しい戦いとなるのが、みなさん自身果たして分かっているのかと思うところがあるからです。それぞれの進んだ道でこれまで以上に努力することが必要になりますが、その覚悟はしっかりと持っているでしょうか。とりあえず進学したというのでは、先が思いやられるところです。次の歌詞をみなさんに贈ります。

「君の夢が叶うのは、誰かのおかげじゃないぜ。

風の強い日を選んで走ってきた。」 Funny Bunny / the pillows

逆風の中でこそ真価が問われます。どうか逆風を力に変える、そんな逞しい生き様を。

3年6組担任 請園 良信



6組



7組



私は第1志望校には合格できませんでしたし、教員採用試験にも簡単には合格できませんでした。高校の部活動だって最後までレギュラーにはなれなかったし、現在の仕事においても、思うようにならないこと、失敗など沢山あります。この仕事は自分に向いてないのでは？と自問することもしばしばです。

なかなか思い通りに行くことが少ない世の中です。人生は、辛いこと、悲しいこと、悔しいことの方が多いかもかもしれません。これから先みんなには、想像もできないほど苦しいこと・壁にぶつかることが数多くあるでしょう。でも、どんなに辛くても、悲しくても、悔しくても、泣きながらでもいいから前に進んでください。それを

乗り越えて生まれる喜びや幸せは、その何倍にもなって返ってくると思います。

君が流した涙が いつか花を育て咲かせて 君の目の前に 広がるはずだから

君が乗り越えた壁は いつか君を守る盾となって 君をそばで いつまでも支えるだろう

ケツメイシ「ライフイズビューティフル」より

卒業おめでとう。

3年7組担任 堀 正二

67期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今後の皆さんの人生で大切になってくるのは、「勉強ができるかどうか」ではなく「人の痛みがわかるかどうか」だと思います。「自分とは違う」ことがどれだけ許せるかどうかだと思います。他人の思いをそっくりそのまま100%汲み取ることはおそらく不可能です。ですが、相手の表情や言葉のトーン、その人が抱えてきた過去に思いを馳せ、あるいは自分自身の経験の中から色々なパーツを引っ張り出し、部分部分を組み合わせて、「今この人はこういう思いをしているのだろうか…」と思いを寄せることができれば、いくらかは他人の思いが理解できるのではないかと思います。自分が負ったことのない痛みであっても、共に痛むことができるかもしれません。自分とは違う生き方をしてきた、違って当たり前の他人に「自分」を押しつけることをせずすむかもしれません。

心温かく大きく前進してください。卒業おめでとう。

3年8組担任 宮内 裕平



8組



早いもので 我が家の息子も卒業を迎えることとなりました。部活動に学業に、本当に忙しそうに日々を過ごしている姿をみて、このままやっていけるのだろうかと不安に感じることもありました。

けれども、あなたの頑張りにも勇気と感動と元気をもらうことも多くありました。多くの友人に恵まれ、親身になって指導して下さる先生方と出会い、鹿屋高校の三年間で、本当に多くのことを学んだのではないかと思います。

これからそれぞれの道に進んでいかれると思いますが、感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって羽ばたいてください。

(母より)

私にできることといったら、朝起こして、毎日お弁当を準備し、晩御飯の準備をし、親としてももう少し協力できることもあったのではないかと、今さらながら後悔しております。

そんな私に、学校から帰ってくると、その日の出来事を楽しそうに話してくれるわが子、いつの間にか成長したんだと感じずにはいられません。

鹿屋高校での三年間は、本当に充実していたようでした。それも、素晴らしい友人と素晴らしい先生方の支えがあつてこそであつたと思います。

先生方にはこれまでのご指導に感謝すると同時に、卒業後も何かの折には支えていただければ幸いです。

(母より)

第67期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。速いもので、我が家の息子として生まれて18年が過ぎたんですね。

まだ、進路は確定していませんが、いずれにしろ、もう少ししたら離れ離れの生活が始まります。

不安はありますが、鹿屋高校で学んだことが、必ず今後の生活に役立つはずです。共に泣き笑った友人や、叱咤激励してくださった先生方の言葉を忘れずに、これからの人生にいかしてください。

皆さんの、新しい人生でのご活躍をお祈りいたします。

(父より)

67期生 保護者からのメッセージ

皆さん、ご卒業おめでとうございます。鹿屋高校に入學した日が、つい先日のこのように思い出されます。

初めての高校生という事で、子どもだけでなく親も何も分からない状態で、毎日の生活を送って来ました。

子どもは、すぐに友人もでき素晴らしい先輩にも恵まれ、私も部活動の保護者と親しくお付き合いをさせていた。たき、親としてのありかたを学ぶことが出来ました。

また、常に熱心に指導して下さった担任の先生、部活動の顧問、多くの先生方の支えがあつてこの卒業という日を迎えることができたことに感謝しております。

鹿屋高校を卒業される皆さんが、前途洋々であることを願います。

(母より)

これから迎える人生には、どんな試練が待ちかまえているのでしょうか。

今までは、何かあれば親や先生や友人を頼っていたら、何とか過ごせてきました。しかし、これからは自分一人で何事も背負っていかねければなりません。

でも、困った時、一人で悩まないでください。過ごす場所は離れていても、あなたたちを支えてくれる人は、いっぱいいます。今までの出会いの中で得たものは、君たちの財産です。

辛い時、悲しい時は鹿屋高校で出会った人々のことを思い出してください。きつと支えとなる人たちがたくさんいるはずですよ。もちろん、私もその一人です。何かあつた連絡しろよ。

(父より)



大会報告

鹿児島県PTA活動

研究委嘱公開 曾於大会報告

PTA係 瀬戸和久

12月13日(土) 曾於市末吉総合センターにて「平成26年度鹿児島県PTA活動研究委嘱公開 曾於大会」が開催されました。

当日は「夢実現に向かって主体的に取り組み、心豊かたたくましく生きる児童生徒の育成」という大会スローガンのもと、諏訪小学校・恒吉小学校・柳迫小学校、そして財部高校から各学校や地域の取り組みについての発表がありました。

過疎化の進む地区が多く、生徒減少に伴い、縮小されがちなPTA活動を、家庭・学校・地域が緊密な連携を図り、子どもたちの健全な育成にどう関わっていくか、各学校ごとに特色のある活動報告でした。

曾於地区に限らず、鹿屋市内でも同様の問題を抱える地域は多く、非常に参考となる内容でした。



第19回鹿屋市PTA研究大会

家庭教育講演会報告 PTA副会長 岩元敏昭

1月17日(土) 鹿屋市文化会館にて、右の会が開催されました。

この会は、鹿屋市内の小・中・高の各学校が、大会スローガンの「向き合い、語り合い、学び合う、子どもの未来のために」のもと、各学校から発表がありました。

講演では「サザエさん」でマスオさんの声優をされている増岡弘さまより講演があり、家庭のあり方を考えさせられました。

また、鹿屋市PTA連絡協議会から緊急提案がされました。それは、「ケータイ・スマホ・ゲーム機等の利用」に関するものでした。抜粋したものを掲載しますので、保護者のみなさまもご確認ください。

鹿屋市PTA連絡協議会

ケータイ・スマホ・ゲーム機等の利用についての提言

(携帯スマホゲーム機等は、PCやタブレット、携帯音楽プレイヤーなど、ネット接続ができる機器全てを意味します。)

- ◆子どもを守る責任は保護者にあることを自覚し、家庭での情報モラル教育に努めます。
- ◆子どもの心と身体を守るために、利用するときは、ルールやマナーを守らせます。
- ◆携帯・スマホ・ゲーム機等の利用時間は、夜9時までを基本とします。

家庭での利用ルールをつくりまじょう！



学校探検 第3弾! 未知のスポットを探れ!!

1号棟1F生徒指導室から屋上へ&2号棟1F保健室まで **Let's walk**

スタート

進路指導室



私立大学・専門学校案内資料



国公立大学案内資料



赤本と呼ばれる各大学の過去問題集。過去5年間分保管。それ以前の物は図書室へ

3年生教室の前を通過して



ゆっくり閲覧できるスペースがあります。3年生に限らず1・2年生もどンドン利用してください。保護者の方もどうぞ。

必要に応じてコピーできます。1枚5円。



1F事務室前

屋上 → 2F階段踊り場



何という事でしょう!

屋上で部活をしたなあ by テニス部OG保護者

校舎屋上の緑化 (県立学校地球温暖化対策推進事業)



第20回記念「英展」大賞受賞 [update 2011] 立元真一郎先生作(本校美術教諭)



卒業生奇贈 (高山 美佳)



2014夏・野球部 折りヅルでできています

ゴール 保健室

学校歯科医より指摘

1人あたり平均むし歯数

高校1年時
男子 1.5本
女子 1.9本

高校3年時

男子 **6.6本**
女子 **7.1本**

H25年度卒業生追跡調査結果

清涼飲料水摂取：毎日が60% (運動時を除く)
むし歯だけでなく歯周疾患が増えています。清涼飲料水の摂取については、ご家庭で十分ご指導ください。

保健室来室者：1日平均7~8名程度。生徒数からするとかなり少ない数です。お弁当持参率95~96%からもわかるように、保護者の皆さまの努力の成果です。感謝!



PTA広報誌第69号発行にあたりまして、ご寄稿いただきました方々をはじめ、取材を快くお引き受けくださいました方々に、この場を借りまして心から御礼申し上げます。誤字脱字や誤植等ないよう努めたつもりですが、間違い等ございましたらお知らせいただければ幸いです。

編集後記

担当職員 上床牧之瀬 瀬戸

担当副会長

岩元(1-4・2-4)

黒松(1-5)・川野(1-7)

柿内(1-2)・上船(1-4)

岩元(2-6)・下伊倉(2-7)

中嶋(2-2)・後藤(2-6)

岩重(3-8)・鹿屋(2-1)

西小野(3-5)・市森(3-7)

川畑(3-1)・阿多(3-2)

広報部員

川畑(3-1)・阿多(3-2)